

官員小僧は、流石に見た目は面白いが、やつけなあらもある。第一、官員小僧が追はれてゐると云ふ感じが一向起らない。筋の上の矛盾や出鱈目なあてこみも多い。一々數へ立てるのは面倒臭いからやめる。もしほは熱心に工夫して、第二幕第一場で、戀人の亭主に出逢つて、兎狀がばれるがと思つて心配する處へ、亭主が妻を紹介すると云ふので、一層心配するが、それが他の女と知れて、安心と喜びとで笑ふ幕切や、同じ第三場、雪の中を跣足で歩む足取などに苦心の跡が見える。箕助の伊藤伯、芦燕の戀人役、其他平凡の出來である。

うそくらぶ

A

壽美藏や箕助の辨慶で當てた東寶劇團では、今度は天津乙女の辨慶で「勸進帳」を上演する事に決定した。猶、富樫には箕助、義經にはもしほが附合ふ。

B

軍事劇「飯塚部隊長」を演ずるに際して、永年賣込んで來た高島屋刈を惜し氣もなく捨て、五分刈にした左團次は、次回河内山か村井長庵に扮する時には、頭を剃りこぼつ旨を側近者に洩したので、人々は今更ながら優の藝熱心に感動してゐる。